

## iUとキャストリア株式会社、 第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の 外務省認定パートナー事業としてイベントを開催

～8月19日・21日開催。アフリカ×日本の「カルチャー」と「未来への責任」を考える2日間～

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)は、iU 連携企業であるキャストリア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 山脇智志、<https://www.castalia.co.jp/>、以下キャストリア)と共同で、2025 年 8 月に横浜で開催される第 9 回アフリカ開発会議(TICAD9)の外務省認定パートナー事業として、2つのイベントを開催いたします。

本イベントは、「アフリカの音楽とカルチャー」「アフリカの政治と未来への責任」という2つの異なる切り口から、多様でダイナミックなアフリカの今と未来を考え、日本との新たな関係性を探ることを目的としています。

### ■ イベント概要

#### 1. 「日本の歌と『遠い大陸』アフリカ: 日本のポピュラー音楽におけるアフリカの表象」

- 日時: 2025 年 8 月 19 日(火) 19:00～21:00
- 場所: iU 墨田キャンパス および オンライン配信
- 配信 URL: <https://youtube.com/live/se0lfnYndPA>

#### 2. 「アフリカの政治と未来への責任～民主主義とテクノロジーはアフリカの希望となるか～」

- 日時: 2025 年 8 月 21 日(木) 19:00～21:00
- 場所: iU 墨田キャンパス および オンライン配信
- 配信 URL: <https://youtube.com/live/0ERu20dtQfo>

### iU 墨田キャンパスへのアクセス

<https://www.i-u.ac.jp/access/>

- ・小村井駅から徒歩約 7 分(東武亀戸線)
- ・京成曳舟駅から徒歩約 13 分(京成押上線)
- ・曳舟駅から徒歩約 14 分(東武伊勢崎線)
- ・押上駅から徒歩約 15 分(東京メトロ半蔵門線)

### ■ iU でのイベント開催意義

iUは、ICTを使いこなし、ビジネスにイノベーションを起こす人材の育成を目指す大学です。

世界最後のフロンティアと呼ばれ、著しい経済成長と人口増加を続けるアフリカ大陸は、未来のイノベーションが生まれる重要な舞台です。

本イベントを通じて、学生をはじめとする参加者がグローバルな視野を持ち、多様な文化や社会課題への理解を深めることは、新たな価値創造の源泉になると考えています。

テクノロジーやビジネスだけでなく、文化や社会の側面からアフリカを多角的に捉えることで、日本とアフリカの未来に貢献できる人材を育成する一助となることを目指します。

## ■ 登壇者コメント

**松村太郎 (iU 教授、MID: iU Media Innovation Design Lab.)**

「アフリカと聞いて、多くの日本人はまだ『遠い大陸』というイメージを持っているかもしれません。しかし、音楽、ファッション、テクノロジー、そして地政学的な重要性において、アフリカはすでに世界の中心の一つです。今回のイベントでは、躍動するカルチャーと、未来を担う世代が直面する責任という両側面から、アフリカのリアルな姿に迫ります。この大陸の可能性と課題を共に考えることで、私たち自身の未来への視座も得られるはずです。ぜひご参加ください。」

**山脇智志 (キャストリア株式会社 代表取締役、iU 客員教授)**

「当社は長年、教育やテクノロジーを通じてアフリカの国々と関わってきました。その中で感じるのは、現地の若者たちの圧倒的なエネルギーと未来への渴望です。TICAD9 という大きな節目に、iU というイノベーションの拠点と共に、アフリカの未来を議論できることを大変嬉しく思います。本イベントが、日本とアフリカの間に、より深く、より対等なパートナーシップを築くきっかけとなることを期待しています。」

## ■ 参加・申し込み方法

両イベントとも、以下の Peatix ページよりお申し込みください。

会場参加、オンライン参加ともに無料です。先着順となっておりますので、お早めにご登録ください。

- 8/19 音楽とカルチャー: <https://ticad9ongaku.peatix.com/>
- 8/21 政治と未来への責任: <https://ticad9seiji.peatix.com/>

## ■ イベント詳細

### 1. 「日本の歌と「遠い大陸」アフリカ: 日本のポピュラー音楽におけるアフリカの表象」(8/19)

日本のポピュラー音楽の歌詞世界において、アフリカは長年にわたり、魅惑的で多層的なテーマを提供してきました。それは時に、現実の地理的・政治的実体から離れ、日本人自身の内面や時代精神を投影する鏡として機能しています。日本の音楽は、アフリカをどのように表象してきたのか。ポップカルチャー、評論、アカデミズムの視点からその表現と想像力を読み解き、音楽を通じて日本とアフリカの知られざる接点を探る公開対話を行います。

- **登壇者:** 山脇智志 (キャストリア)、宮内俊樹 / 名小路浩志郎 (音楽ライター・編集者)、吉川 昌孝 (京都精華大学メディア表現学部 学部長)、松村太郎 (iU 教授)

### 2. 「アフリカの政治と未来への責任」(8/21)

平均年齢が20歳を下回る国も多いアフリカでは、若い世代が未来の鍵を握ります。一方で、多くの国が民主主義の定着やガバナンスの課題に直面しています。テクノロジーは、市民参加や経済発展の起爆剤となりうるのか。日本はどのような役割を果たせるのか。教育・哲学・報道など異なる分野で社会課題に取り組んできた登壇者たちが集い、それぞれの視点から「未来への責任」と「共に創る可能性」について語り合います。

- **登壇者:** 山脇智志 (キャストリア)、谷川 嘉浩 (哲学者、京都市立芸術大学講師)、須賀川 拓 (ジャーナリスト、元TBS報道)、松村太郎 (iU 教授)

## <大学概要>

### ■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間の臨地実務実習も経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

### ■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。

プロジェクト授業、4ヶ月の臨地実務実習、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

### ■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス  
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

## ■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

## ■学びの特色

### 「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

#### ①アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける  
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

#### ②組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習  
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

#### ③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

### 現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

- ・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施
- ・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

## ■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : [info@i-u.ac.jp](mailto:info@i-u.ac.jp)